

夏号

# おおた文化の森

「森が、輝く季節」

## 特集

### 「2008文化の森夏祭り」 ～8月1日(金)・2日(土)～

毎年行われている「文化の森カラオケ・盆踊り大会」は、今年から「2008文化の森夏祭り」として生まれ変わりました。このイベントは、地元新井宿連合会を始め地域のご協力で盛り上がる夏の風物詩となっております。広場では多くの方が出店や、盆踊りなどを楽しんでいただけます。



子どもワークショップのにぎわい

文化の森の館内でも、恒例のホールでのカラオケ大会も今年は演出を今までにはないもので考えています。また、多目的室では子どもカラオケ大会を、1階では子どもたちがいろいろなものを自分で作って楽しめるワークショップ、集会室ではガーデニングなど企画しておりますので子どもから大人まで1日楽しんでいただける内容になると思います。

区民の皆さんが文化の森をより身近に感じてもらえるような「文化の森夏祭り」にしていきたいと思えます。ご家族揃って、大勢の区民の皆様のご来館をお待ちしております。

※詳細は[イベントページ](#)を参照願います。

運営委員 小池 直道

## 特集

### 「2008文化の森フォーラム」開催 ～自分も仲間も活性化～

語って聴いて笑った「2008文化の森フォーラム」は5月17日、期待以上の盛り上がりの中で行われました。文化プレーヤー45名、その他の方々が45名、合計90名の参加がありました。



10人のパネリストの発表

第1部の大久保邦子氏の基調講演は「今、文化の森で起こっていること」を平易で日常的な語り口で説かれました。人々の心や志に支えられた自己実現としての文化ボランティアについて、問いかげられました。

第2部は10名のパネリストから活発な発言がありました。文化の森での活動をはじめたきっかけや、活動を通じて学ぶことが多く、言葉を換えれば育てられている、との発言は感動的でした。

第3部の交歓会は、あちこちの輪の中で、生き生きとした会話と談笑が続きました。「自分を発見、出会いから! 輝くボランティア」のメインテーマをかかげ、さあ、この1年頑張りますよ。

運営委員 福野 幸雄

## 特集

### 「2008文化の森夏祭り」 ～8月1日(金)・2日(土)～

### 「2008文化の森フォーラム」開催 ～自分も仲間も活性化～

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

## 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。

## 新任のごあいさつ

大田文化の森運営協議会会長 青柳 博之



～文化活動を通して心の栄養を～  
文化の森運営協議会が発足して、今年で8年目を迎えました。旧大田区役所の跡地に建設された文化施設です。当時の西野区長の大英断により、施設の運営を区民に任せ、区長委嘱の委員15名により、その活動がスタートしました。運営協議会は、その運営方法につき、「区との協働」を基本としながらも、区民自らが中心となって事業運営を行い、新たな区民文化を創造するという基本方針を樹立しました。本会は区民の主体的な活動を支援する役割を担う事を目的とする運営方針を決定し、以来トライエンドエアーを繰り返しながら、3期目の今日に至り、安定した支援活動ができる組織に成長しました。これはボランティアである「文化プレーヤー制」の採用により、力を発揮できた事が一番の良策でした。これからも本会は進歩を続けていきます。区民の皆様の温かいご協力、ご支援を切にお願い申し上げます。

大田文化の森館長 水戸 秀行

### ふたたび思い出の地に

旧区役所の跡地に建つ大田文化の森。館長に就任して3ヶ月が経ちました。区役所の職員として何十年にもわたって生活した思い出の地でもあります。街の風景も少し変わりました。昔ながらの店に入ると、タイムスリップしたようで、とても懐かしい思いがします。改築をして雰囲気が変わった店もありました。かつてあった店が、その場所に見あたらないと寂しさを覚えます。大田文化の森は、区民の皆様の文化活動の拠点として定着してきました。いろいろな事業の実施について、運営協議会が大きな役割を果たしたことは、いうまでもありません。自主的な活動だからこそ、地域の皆様の大きな力を引き出せたのだらうと思います。蒲田、アプリコの大きなホール、下丸子の中規模のホールに比べ、文化の森のホールは、地域の皆様にとって、ちょうどよい大きさで、使い勝手も良いのではないのでしょうか。図書館と変わらない情報館は、多くの皆様に利用されています。自主的な事業という酒がより芳醇になるよう、容器である施設の管理に万全を期してまいります。



今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「押し花サークル」を紹介します。



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト荘村清志さんのコンサートです。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

## 文化の森イベントスケジュール



寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話：03-3772-0770  
FAX：03-3772-0704  
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号  
(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込

多数の場合は抽選となります。  
■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版  
2008年7月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# おおた文化の森



## 元気印 文化プレイヤー

### 新たな出会いを求めて

私が文化プレイヤーに登録したのは、3年前の『子ども落語講座』を娘が受講し、お手伝いさせていただいたことがきっかけでした。

講座は、娘はもちろん、落語好きの私にとっては、タダで落語が聞けるなんて、とお手伝いも楽しみでした。しかしお手伝いをさせていただくうちに、内部事情も垣間見え、お世辞にも段取りが良いとはいえない難く…、私の“ほっとけない精神”に火がついてしまいました。

二人の子どもの親として、義務感からしていたPTA活動でしたが、こんな所で役に立つとは、人生無駄は無いですね。

そんなこんなで3年間、子ども若者実行委員会に所属してきました。

昨年は、娘の不登校やら、義父の看病やらで、実行委員会にも顔を出せず、ままならない日々を過ごしておりました。

諸事情も片が付き、今年も『子ども落語講座』のお手伝いをと実行委員会に復帰したところ、委員長という大役を仰せつかってしまいました。実行委員の皆さんが少しでも私の負担を軽くしようと、イベント担当を設けて分担制にしたり、アナログ人間の私のためにパソコン作業を引き受けて下さったりと、サポートされどうにか務まっている感じです。

息子は自立しつつありますが娘は中学生。思春期真っ只中、子育てに必死になる時期は過ぎたものの問題は山積み。それでも、子どもがいたからこそたくさんのお会いがあり、私を成長させてくれたのだと思います。

ニュースでは毎日嫌な事件ばかり…悩み苦しむ親のひとりとしても、地域で子育て、楽しく子育て、地域の宝として、元気な大田っ子育成の一助となればと思ひ活動しています。

文化の森運営協議会には多種多様な、人生経験豊富な、先輩方がいます。時にはそのパワーに押し潰されそうになりますが、笑う門には福来る！ 毎日笑顔で過ごせるように頑張りたいと思います。

文化プレイヤー 佐藤 玲子



柳朝師匠との打ち合せ

#### 特集

「2008文化の森夏祭り」  
～8月1日(金)・2日(土)～

「2008文化の森フォーラム」開催  
～自分も仲間も活性化～

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

#### 読み応えのあるコラムが自慢

## 元気印 文化プレイヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

## 文化プレイヤー レポート

文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。

## 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。

## 大田の顔 キラリ

今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。

## 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちを

## 文化プレイヤー レポート

### だれでもできるデジカメ・スライド教室

大田区シルバー人材センターで30周年記念の企画委員に選任されたことがきつ

かけでした。過去30年間の『センターの歩み』を作成することが決定し、ムービーで作り始め、たまたま静止画で方向性を確認するために編集に取りかかったところ、「非常に簡単・費用もかからない・理解しやすい・だれにでもできる・静止画でも動画の味が出る」ことがわかりました。これが大変好評を得、この手法を多くの方々に学んでいただこうと、ビデオクラブの仲間に持ちかけると同時に大田文化の森運営協議会に企画提案したところ、採用していただき全5回の講習会を開催することとなりました。



しかし、実施するに当たっては大勢のスタッフがいないければ、講習会で多くの方々に教えることが難しかったので、クラブの仲間とシルバーセンターに同好会を創設し講習会に臨みました。

「みんなで作ろう!! “映像と音楽のMy Story”」をサブテーマに募集したところ何と定員30名に、88名もの応募があり嬉しい悲鳴となりました。

そして、4月4日第1回目を迎え、運営協議会の担当委員の方々のお力添えもあって、どうにか幕をあけることができました。

しかし、回を重ねるごとに、時間の割り振りがうまくいかず、いつも予定終了時間より30分もオーバーしてしまい、多くの受講生たちにも大変なご迷惑をおかけしました。そして、受講生の熱心さにほだされて、時の流れに流され、最終回を迎えました。

受講生の方々の熱いまなざしを感じた時に、実施して良かったという思いと同時に、講師の健やかな笑みを感じ、華やかな一瞬の講習会の終局に心を打たれました。初めての講習会でしたので、予期せぬ出来事も数々ありましたが、それは次回に生かしたいと思っています。静止画が様々な動きの動画になり、タイトルを付け、音楽を取り込んで完成した時の受講生の感動に胸打たれました。お孫さんや旅行、ペット等の写真のアルバム整理に少しでもお役に立ったことを嬉しく思っています。多くの仲間に支えられ、また受講生にも、運営協議会にも、文化プレーヤーにも支えられて、このように好評を得て終えることができたことは、私たち高齢者集団の誇りとするものであり、人生のよき時代を過ごした証になることと思っています。

文化プレーヤー 浜田 智

ご紹介します。今回は「押し花サークル」を紹介します。

## 新シリーズ 森の泉

新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト荘村清志さんのコンサートです。

## 第9回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版

2008年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



# 森の文化のおおた

運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

藤井 晴子 (ふじい はるこ)

皆さんはどんな時癒されますか、どんな事でやる気や意欲がわき、どんな時『やったー！』と達成感、充実感が得られますか？

私がここ、「大田文化の森」にそっと足を踏み入れたとき、右、左、上、下、ななめ、あらゆる方向から、やさしい声や視線に包まれ(囲まれ)、いらっしやいと腕をとられ、「一緒にやろうよ。」と誘っていただきました。

そしていつのまにか輪の中で踊ったり、歌ったり、笑ったり、学んだり。大田文化の森の活動が楽しいものになりました。

また、文化会議での委員の真剣な討議、各実行委員会での委員の方々や文化プレーヤーの皆さんとの話し合い、企画・運営・実施のお手伝い。一生懸命な皆さんのまなざし、姿勢に共感し、拍手をおくらせていただいています。

私は区民の皆様どなたもが参画していただける居場所作りを目指しています。

例えば「私は見るだけ、でも孫が出るのよ。応援してね」。また、ホームページや情報誌を楽しみにしている、イベントは必ず目を通して、など個々に合った関わりをしていただけるような情報発信を心がけています。

そして、大田区民の一人でも多くの方に「大田文化の森」を知っていただき、利用して、癒されたり、頑張ったり、みんなで笑いましょう。

そのために、諸先輩方に遅れをとらないよう、息切れしないよう、『見ます、聞きます、話します。』をモットーに頑張ります。

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。



## みんな違って面白い

今年の「異文化交流実行委員会」はメンバーが大きく入れ替わりました。不慣れで、おぼつかないところもたくさんありますが、新メンバーの方々と力を合わせてこの1年間、楽しくてそしてためになる企画を実行していきたいと思えます。北京オリンピックを目前にした中国を取り上げ、今、数々の問題が噴出してはいますが文化という面からお互いを良く知り合うことにより理解を深めることを目指した、異文化理解講座「日本から見た『中国』と中国から見た『日本』」を6月29日(日)に実施しました。日中のパネリストたちとの親しい意見交



特集

「2008文化の森夏祭り」  
～8月1日(金)・2日(土)～

「2008文化の森フォーラム」開催  
～自分も仲間も活性化～

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。



今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちを

換と交流の場を作り、大好評を得ました。

9月にはベトナムの話を聞きながらおいしい料理を教わる「ベトナム料理講習会」、10月には独自の移民政策で多くの民族を受け入れてきた共生の先進国カナダのハロウィーンにちなんだ企画、来年2月には興味深い「古代ペルシャと日本」というテーマでイスラム社会に関しては第一人者である岡田恵美子氏の講演を予定しています。

大田区にはたくさんの外国人が住んでいます。彼らの一見不思議に思える習慣も、外見も言葉も、自分と違っているといって敬遠するのではなく、「みんな違っているから面白い」と思えば、新しい世界が目の前に広がってきます。皆さん、すぐ近くにあるワンダーランド・大田文化の森で、楽しい時間を共有してみませんか？

文化プレーヤー 野溝 淳子

#### 7月～9月 運営協議会【会議】スケジュール

※問い合わせは月～金(9:00～18:00)の間に願います。

##### ■文化会議(毎月第1・3金曜日)19:00～21:00(第2集会室)

7月4・18日、8月(4)・8日、9月5・19日 ※( )は臨時文化会議

\*文化会議は、運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。

##### ■役員会(文化会議のある週の火曜日)13:30～15:30(講師控室)

7月1・15日、8月5日、9月2・16日

##### ■実行委員会

###### ●芸術事業実行委員会(第2金曜日19:00～21:00)

7月11日、8月8日、9月12日

###### ●誰でも楽しめる実行委員会(第1火曜日19:00～21:00)

7月1日、8月5日、9月2日

###### ●子ども・若者たちの実行委員会(第2金曜日14:00～16:00)

7月11日、8月8日、9月12日

###### ●まちづくり実行委員会(第1木曜日10:00～12:00)

7月3日、8月7日、9月4日

###### ●異文化交流実行委員会(第1木曜日10:00～12:00)

7月3日、8月7日、9月4日

###### ●収穫祭実行委員会(第3水曜日19:00～21:00)

7月16日、8月20日、9月17日

###### ●文化プレーヤー事業部(第1・3木曜日16:00～18:00)

7月3・17日、8月7・21日、9月4・18日

###### ●広報事業部(第1・3火曜日10:00～12:00)

7月1・15日、8月5・19日、9月2・16日

ご紹介します。今回は「押し花サークル」を紹介します。



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト荘村清志さんのコンサートです。

#### 第9回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

#### 文化の森イベントスケジュール



寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

#### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

#### 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

#### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版

2008年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704



E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



# おおた文化の森

## 大田の顔 キラリ

### みんな違って面白い



平林義正さん

大森海苔漁には大田区沿岸の埋め立てのために、昭和37年12月に300年の歴史に終止符を打つ涙を飲んだ時がありました。とくに明け方まで討議して決定せざるを得なかった8月11日は思い出深い日でありました。当時、ご実家が海苔生産業者でした平林義正先生にお会いして、お話を伺いました。

奈良時代から阿麻乃里(あまのり、紫菜)として食され、300年前の江戸から海苔の養殖が始まり、浅瀬のひろがる大森周辺は海苔発祥の地で、またここより海苔づくり技術が各地へ広まり、明治、昭和に至った古い歴史があります。江戸より木ヒビを海中に立て、海遊している海苔の胞子を養殖させ極寒の冬に収穫していました。その後木ヒビは竹ヒビから綱ヒビと変わり生産力をあげていきました。

昭和37年、海苔を生業としていた全区内の2,000軒、大森周辺1,000軒の大半が職業を変えていきました。この状況下、海苔生産用具の消滅を憂慮した有志が200~300点の資料を保存するため、昭和39年大森海苔漁業資料保存会を作り、同会の収集資料が区へ寄贈され、郷土博物館(馬込)が生まれました。その資料を引き継いだ郷土博物館はさらに収集を加え、平成5年に文化庁へ申請して文化庁重要有形民俗文化財に認定されました。大田区の郷土意識づくりの推進を基に地元の声を汲み、海の近くにと「海苔のふるさと館」が平成20年4月6日にオープンしました。

オープンに尽力を注いだ地域の方は当時20代、30代の青春の思い出が海苔であり、質量ともに全国一であり、本場乾海苔(ほんばほしのり)と誇れるものを作っていた事を子どもたちに伝えたいという“あつい思い”を45年後に「海苔のふるさと館」に集結させています。

海苔博物館は珍しく、海苔船、海苔付け場の復元や江戸時代から海苔の生産用具が展示されています。すでに2万人以上の見学者が全国よりおとずれています。大森より海苔が各地に広まり、海苔のふるさとを見てみたいということではないでしょうか。絶滅危惧種であった、アサクサノリも平成16年千葉県立中央博物館、菊池則雄研究員によって多摩川河口の葦群に発見され、やっとふるさとに帰ったようです。



「大森海苔のふるさと館」のポスター

参考資料/「大森漁業史」「大森及び周辺地域の海苔生産用具」「大田区海苔物語」問合せ先/「大森 海苔のふるさと館」〒143-0005大田区平和の森公園2番2号 電話:03-5471-0333

### 特集

「2008文化の森夏祭り」  
~8月1日(金)・2日(土)~

「2008文化の森フォーラム」開催  
~自分も仲間も活性化~

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

### 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

運営協議会委員の志



文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。



今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちを



## 押し花サークル

### 「野の花を摘んで、きれいに飾ろう」

「四季折々、身近な野草に親しみ、その素朴な美しさを額に収める」という楽しみ方を広めるため、平成17年度の公募企画に参加させていただきました。以来、春は「野の花を摘んで、きれいに飾ろう」、秋は「紅葉・落葉を集めて、きれいに飾ろう」というキャッチフレーズで活動を続けてまいりました。最初の公募で参加された方の年齢構成をみると、40歳代1人、50歳代2人、60歳代8人、70歳代2人、80歳代1人で、60歳代以降の女性が圧倒的に多いことがわかりました。しかも全員初心者でした。この傾向は今も同じで、やっと自分の時間を持てるようになった女性の趣味として向いているようです。ところで、高齢になると細かい作業に苦勞される方が多くなりますので、この講座では、糊付けや面倒な密封作業なしに作品を飾りつけられる額を考案したり、見栄えのよい飾りつけ法を導入したりして対応しています。その結果、今では1時間以内に作品が仕上がり、初めての方でも立派なものができるようになりました。今後も「素材を探す楽しみ、作品を創る楽しみ、作品を観る楽しみ」の三つの楽しみを提供して活動していきたいと思っています。多くの方のご参加をお待ちしています。（「押し花サークル」問い合わせ先／田中信壽 03-3765-0189）



植物資源開発研究所 田中 信壽

ご紹介します。今回は「押し花サークル」を紹介します。

## 新シリーズ 森の泉

新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト莊村清志さんのコンサートです。

## 第9回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 圃でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話：03-3772-0770  
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版  
2008年7月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# おおた文化の森

## 新シリーズ 森の泉

森のどこかにいつも泉がある。  
泉は噴出ししない。奔流しない。時間をかけて湧き出る。  
こんこんとつぎつぎと湧き出る泉を発見するように「文化の森」の企画や行事を紹介していきます。(編集部)

### 一味ちがうコンサート

しょうむら きよし  
莊村清志

### クラシックギターコンサート



平成20年4月12日(土)に開催された文化の森運営協議会主催、NPO法人馬込文士村継承会共催、莊村清志魅惑のクラシックギターコンサートは大勢のお客様が年代を超えて楽しんで頂けました。心より満足して帰られて行く笑顔が、何よりも嬉しく思いました。2月11日のチケット発売開始から長蛇の列でしたので、期待度はかなり高かったようでした。莊村さんの演奏は優雅さと気品、繊細さで奏でられ、乾いた目や心から滲むものがありました。まるですっかり年を忘れて若かりし頃の心に戻ったようでした。「魔笛の主題による変奏曲」、「プレリュードNo. 3、5」、「郷愁のショーロ」、「アルハンブラの思い出」など、生演奏で身近に聴けたことに感動しました。演奏後も拍手が鳴りやまず、アンコール、アンコールで二曲も弾いて頂きました。

第一部では地域出身の若手演奏家の懐かしいメロデーと趣向を凝らしたリベルタンゴが絶妙だったと思います。メロデーに詩の朗読が綴られ情景が浮かんでくるようでした。この日のコンサートのテーマ「良い曲で心を豊かに」は、大成功だったと思います。「莊村清志のギター演奏は高い精神性をもった芸術の心を聴く人の魂を揺さぶるものでした。馬込文士の詩人の代表格の北原白秋、大正

### 特集

「2008文化の森夏祭り」  
～8月1日(金)・2日(土)～

「2008文化の森フォーラム」開催  
～自分も仲間も活性化～

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

### 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。



今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちを

ご紹介いたします。今回は「押し花サークル」を紹介いたします。

## 新シリーズ 森の泉

新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト荘村清志さんのコンサートです。

## 第9回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話: 03-3772-0770  
FAX: 03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版  
2008年7月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704

ロマンの竹久夢二も馬込にゆかりのある一人、今回馬込文士村継承会の共催でもあり、馬込文士の作品の朗読をいたしました。詩の力が演奏者を高め、詩の心を音楽にのせ表現した新しいコラボレーションの一味がうコンサートになりました」(NPO法人馬込文士村継承会 M. Yさんからの一言)



交流会のひとつ

「先日は大変お世話になりました。有難うございました。皆様の熱意が伝わって来て、良い感じで演奏をさせていただきました。また私の感想文も書いて頂けるとの事ありがとうございます。お礼まで」(荘村清志さんからの一言)



河崎早春さんの朗読

交流会では演奏者、一般を含めて30名ほど集まり、演奏者や参加者がそれぞれに歓談しあい、和やかで楽しく、またあっと言う間の一時でした。スタッフが演奏を聴けなかったことを知り、即「アルハンブラの思い出」を一曲弾いてくださり、荘村さんの心配りに全員感動したと思います。また是非演奏をお願いしますとの声が多かったので実現できたら最高です。

講演者や参加者の一人々が作り上げた演奏会、いつまでも心の記憶となるでしょう。区民が作る文化の森に乾杯！

運営委員 大瀧 真理子

## 第9回 フォレストメーツ チクリ一筆

食育をまちづくりの柱に！



昨年は食物に関する不信、不満、不安、の年でした。偽造食品、賞味消費期限の改ざん、食物アレルギー、花粉症、生活習慣病、メタボリックシンドローム、増え続けるサプリメント製品等たくさん問題が浮かんできます。農薬に汚染された中国冷凍食品、添加物だらけの調理済み食品、偽造畜肉製品についても消費者側の勉強不足が業者の不正を見抜けず長期間の営業を可能にしてしまったのです。これからの日本の食環境を考える時、区民の皆様が健康で生き生きと働くためにも、食品に対して正しい知識を持ち、日常生活に生かすのが大切です。食育をまちづくりの柱として大いに活用して下さることを心から願っています。

佐伯栄養学校校長 直井 和子

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# おおた文化の森

## 地域ネットワーク

### 大田文化の森と「新井宿」

新井宿自治懇話会 会長 田中 愛二

大田文化の森は、蒲田に移転した大田区役所の跡地にあり、かつては大田区の中心的存在の地でもありました。また、住居表示の法律が施行され、中央となった昭和39年以前は「新井宿」という地名で呼ばれていました。ところが、今「新井宿」の地名を名乗っているのは特別出張所名とこの地域にある数町会にすぎません。それでは、今は無くなってしまった、「新井宿」という地名はどんな歴史があるのでしょうか。文献によると、奈良時代に成立したという『万葉集』の中にある歌が「新井宿」の地名の元になっているといわれています。歌集『万葉集』古今相聞往来歌類下「草陰の荒藪の崎の笠島をみつつか君が山路越ゆらむ」（荒藪の崎に浮かぶ笠島をみながら、わが夫は独り山路を越えて行くのでしょうか、私は貴方の旅の行方が心配です）この「荒藪の崎」は現在の大森駅前から木原山一帯の高台で、海がその下まで迫っている景勝地であったようです。笠島というのは大森の磐井神社境内にある笠島弁財天のことを指すといわれています。また、荒藪とは畳表の藪草の事ともいわれ、海辺にこの植物が群生していたのでしょう。この付近に古東海道が成立して各地に宿駅ができるようになり、この地も宿場の機能を持ってきたと考えられます。呼び名も荒藪宿、荒井宿と時代によって変わり、近世に「新井宿」の地名が定着したのではないのでしょうか。徳川家康の街道整備は、東海道を海沿いの道に決めました。従って新井宿村を経由していた古東海道はわき道となり、「新井宿村」の宿場機能が終わったのかもしれませんが。



※写真の文献は熊野神社(大田区山王)の大野宮司所蔵の資料より掲載させていただきました。(編集部)

写真左

「天保五年版『江戸名所圖會』品川。大井。大森。蒲田。池上。洗足。戸越川崎市」表紙

### 特集

「2008文化の森夏祭り」  
～8月1日(金)・2日(土)～

「2008文化の森フォーラム」開催  
～自分も仲間も活性化～

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

### 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今月は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。



今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちを



同書の「木原山」の説明中に『荒藪宿といひし地なりとぞ』と説明があり、引用の「万葉集」の歌の記載が見える

ご紹介します。今回は「押し花サークル」を紹介します。



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト莊村清志さんのコンサートです。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

### 文化の森イベントスケジュール



寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 編集後記

## 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話：03-3772-0770  
FAX：03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版  
2008年7月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



# おおた文化の森

## 文化の森 夏でもあり

初夏から夏本番に向けて、イベントも熱く盛り上がります。ご参加お待ちしております。

### 楽しいイベントが一杯！ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

#### ■2008文化の森夏祭り～カラオケ盆踊り～

文化の森での夏の定番のお祭。広場での盆踊りや屋台、ホールでのカラオケなど、ご家族みんなで楽しめます。また、お子様向けのワークショップやガーデニング及びちびっ子カラオケなどを開催

□開催日時：8月1日(金)・2日(土)／?@ワークショップ13:00～ ?A盆踊り17:30～21:00 ?Bカラオケ18:30～20:30 □会場：ホール・多目的室・広場・展示コーナー・集会室等

#### ◆カラオケ出場者の募集◆

区内在住の方。8月2日(土)17:30～21:00時。抽選で15名。問合せ先へ往復はがきにて申込。7月19日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

#### ■鈴鹿景子の読み語り「八月の蒼い空」

野坂昭如著『戦争童話集』を女優鈴鹿景子の読み語りで上演。平和祈念を忘れずに伝える

□開催日時：8月6日(水)14:00～15:30／19:00～20:30 □会場：大田文化の森ホール  
□チケット：前売2,000円(中学生以下1,000円)、当日券2,200円(中学生以下1,100円)、大田文化の森にて発売中

[PDFチラシのダウンロード](#)

#### ■中国の音楽と舞踊

中国楽器の音色、構造、歴史や邦楽器との違いを紹介しながら演奏と中国各地に伝わる特色ある舞踊も紹介

□開催日時：8月24日(日)14:00～16:00

□会場：大田文化の森ホール

□チケット：1200円、大田文化の森にて発売中(未就学児不可)

[PDFチラシのダウンロード](#)

#### ■夏休みこども落語まつり

夏休みこども落語講座参加者の発表会と師匠春風亭柳朝氏の一席もご披露

□開催日時：8月30日(土)13:30～15:30

□会場：5階多目的室 □参加費：300円

□定員：抽選で200名 □申込：8月15日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

#### ■トライ！ジョイントコンサート

大田区内で活動中の小さな合唱団を公募で募り、採用された合唱団が主役になって、楽しいミニコンサートを開催

□開催日時：9月13日(土)14:00～16:10

□会場：大田文化の森ホール □チケット：800円、大田文化の森にて7月14日10:00から発売(未就学児不可)

[PDFチラシのダウンロード](#)

#### ■大田文化の森落語会季節寄席(秋)

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、中央1丁目在住の三遊亭時松(二つ目)。笑いを通して地域の活性化を図る。演目は未定

□開催日時：9月20日(土)15:00～18:00

□会場：5階多目的室 □チケット：前売500円、当日700円、大田文化の森にて8月20日10:00から発売(未就学児不可)

[PDFチラシのダウンロード](#)

#### ■若手劇団による海洋歴史ロマン「HERITAGE(ヘリテージ)」

### 特集

「2008文化の森夏祭り」  
～8月1日(金)・2日(土)～

「2008文化の森フォーラム」開催  
～自分も仲間も活性化～

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

### 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

運営協議会委員の志



文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。



今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちを

16世紀を舞台に、イングランド海賊とスペイン海軍の愛と友情を描く

□開催日時:9月27日(土)13:00~14:30/17:00~18:30 □会場:大田文化の森ホール  
□チケット:2,000円、小・中学生500円、大田文化の森にて7月28日10:00から発売(未就学児不可)

[PDFチラシのダウンロード](#)

■お父さんのための家族で楽しむブルースライブ

人情あふれる双子のフォークデュオ「サスケ」らによる、家族も気軽に楽しめるライブコンサート

□開催日時:10月5日(日)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール □チケット:1,500円、3歳以上中学生まで500円、8月18日10:00から大田文化の森にて発売(2歳以下無料、但し、保護者の膝の上)

[PDFチラシのダウンロード](#)

■0歳からおやこでコンサート

0歳からだれでも、一人でも、家族全員でも参加できる、楽しいヴァイオリンを中心としたコンサート

□開催日時:10月26日(日)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール □チケット:500円、大田文化の森にて8月25日10:00から発売(1歳以下無料、但し、保護者の膝の上)。ベビーカーでの来場はご遠慮願います

[PDFチラシのダウンロード](#)

#### 申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

### 体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■やってみよう! 不思議なペーパーマジック

広げてみればたった一枚の紙。たたんで開くともう別の絵に!!その秘密を教えます

□開催日時:8月24日(日)13:30~16:30

□会場:4階第3・4集会室 □参加費:1,000円(材料費込み) □定員:抽選で15組 幼児と大人2名1組 ?A抽選で20名 小学生以上ならどなたでも □申込:7月25日(金)必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■おとうさんと音楽とからだで遊ぼう!

□開催日時:9月7・14・21日(各日)10:30~11:45 □会場:1階第1スポーツスタジオ、21日

のみ4階第2集会室 □参加費:1,500円 □定員:抽選で18組(4歳~小学2年生) □申込:8月17日必着

■木工体験! ~やわらかな輪郭の額縁を作ろう~

木材を切ったり削ったりして木工細工の楽しさを味わい、ポストカードを入れる額縁など2作品を完成させる

□開催日時:9月14・28、10月5・19日(各日)10:30~16:30 □会場:4階第2集会室 □参加費:4,000円+材料費3,000円 □定員:抽選で10名(18歳以上) □申込:8月17日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■楽しく学ぼう 男の舞(黒田節)

全6回で扇を槍や酒盃に見たてて、昔から一般になじみのある「黒田節」を習得。舞うことを通して和服を身につけることの楽しさも味わう

□開催日時:9月20・27日、10月4・11・18・25日(各土)13:30~16:30 □会場:3階和室 □

参加費:6,000円 □定員:抽選で10名 □申込:8月29日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■魅力がいっぱい バレエのワークショップ

クラシックバレエ鑑賞の知識を親子でも楽しみながら体験。名作「コッペリア」の解説と実際の舞台のシーンを演じるワークショップ

□開催日時:9月21日(日)14:00~16:00

□会場:5階多目的室 □参加費:1,500円(小・中学生1,000円、保護者と子どもはセットで1,500円) □定員:抽選で各80名

□申込:9月10日必着

ご紹介します。今回は「押し花サークル」を紹介します。

新シリーズ

## 森の泉

新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト荘村清志さんのコンサートです。

### 第9回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

### 地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

#### 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

#### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

#### 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

#### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号

(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版

2008年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

## [PDFチラシのダウンロード](#)

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

### ■カナダのハロウィンとランタン作りを楽しもう！

モザイク文化の国カナダについてカナダ人講師がわかりやすく紹介した後、皆で一緒にランタン作りを楽しむ

□開催日時:10月19日(日)13:00~15:30

□会場:4階第3・4集会室 □定員:抽選で50名 □参加費:1家族1,000円(お一人での参加も可。カボチャ1個の引換券付)

□申込:10月4日必着

## [PDFチラシのダウンロード](#)

### 申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

## 生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

### ■大田区民映像祭

区民のみなさんが日頃作成している自慢のデジカメ・ビデオ作品を公募し、選ばれた様々な作品を上映、鑑賞

□開催日時:7月20日(日)10:00~16:30

□会場:4階第3・4集会室 □定員:抽選で70名

□参加費:無料 □申込:7月12日必着(参加希望者数を明記)

## [PDFチラシのダウンロード](#)

### ■絵手紙で夏の思い出づくりを！

夏休みの思い出を絵手紙で表現。世代を越えて家族皆で楽しみながら製作し、作品を写真に撮りこみ展示予定

□開催日時:8月26日(火)13:30~15:30

□会場:3階美術室 □参加費:300円

□定員:抽選で30名(小学生と保護者または祖父母) □申込:8月12日(火)必着

## [PDFチラシのダウンロード](#)

### ■ベトナム料理講習会

ベトナム料理の講習を通して、直接対話をすることにより、食文化や慣習を体験

□開催日時:9月7日(日)10:00~13:00 □会場:3階調理室 □参加費:1,000円 □定員:抽選で30名(未就学児同伴不可) □申込:8月25日必着

## [PDFチラシのダウンロード](#)

### ■浮世絵へのいざない[?U]

浮世絵に秘められた物語を読み解き、江戸時代の伝統文化の新しい魅力を再発見

□開催日時:9月10・24日、10月8日(博物館見学)・22日、11月5日(各水)14:00~15:30

□会場:4階第2集会室 □参加費:2,500円 □定員:抽選で30名 □申込:8月25日必着

### ■絵描人(えかきびと)たち~愛の手帳と共に~

□開催日時:9月13日(土)~17日(水)9:00~17:00 □会場:1階展示コーナー

## [PDFチラシのダウンロード](#)

### ■ハーブを使った家庭料理講習会

新鮮なハーブを使ってタイ風の家庭料理に挑戦

□開催日時:9月28日(日)10:00~14:00

□会場:3階調理室 □参加費:1,000円 □定員:抽選で30名(中学生以上) □申込:9月16日必着

## [PDFチラシのダウンロード](#)

### ■ママが作る手作り絵本&アーティストブック講座

初めてでも、絵が苦手でも、誰もが楽しめる絵本作りを紹介。最終回は作品披露朗読会を開催

□開催日時:10月3・10・17・24日(金)10:00~11:45 □会場:4階第3集会室 □参加費:

2,000円 □定員:抽選で15名 □申込:9月19日必着

## 申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770 / FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。



**募集してまへす!** 各種催しでの募集をしています

文化の森を利用した区民による「企画」を募集

採用された企画は、施設使用料と付帯設備使用料が免除及び実施日時の優先確保があります。

□実施期間: 平成21年4月～平成22年3月 □説明会: 9月25日(木)14時～、19時～ 第3集会室 □申込方法: 所定の応募用紙で郵送または持参。10月31日(金)必着 ※応募用紙は

9月1日から配布([こちらのHPからダウンロード可](#))



# おおた文化の森

## おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

### Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。  
『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

### Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

### Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、1.任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、2.区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、3.「運営協議会と共催で行う事業」の3種類があります。  
管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

### Q4. どんな利用ができるの?

#### ●企画の実施

1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する、3.運営協議会と共催で行う

#### ●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする

#### ●貸館を利用する

うぐいすネット(コンピュータを活用した登録制の申込システム)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しく[こちら](#))



### ちょっとここでコーヒープレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

## 特集

「2008文化の森夏祭り」  
～8月1日(金)・2日(土)～

「2008文化の森フォーラム」開催  
～自分も仲間も活性化～

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

## 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

### 運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。



今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちを

## 大田文化の森 アクセス情報



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より  
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より  
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)  
東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

- 大田文化の森運営協議会事務局  
〒143-0024 大田区中央2-10-1  
電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

詳しい地図は[こちら](#)をクリックしてください。地図検索サイトNAVITIMEにリンクします。

ご紹介します。今回は「押し花サークル」を紹介します。

## 新シリーズ 森の泉

新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト荘村清志さんのコンサートです。

## 第9回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしています。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話:03-3772-0770  
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版  
2008年7月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704



E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



# おおた文化の森

## F&F 編集後記

◆「源氏物語」読み返しています。世に出て今年が千年。四百字詰め原稿用紙で約4千枚、登場人物はなんと430人、一人娘をかかえた寡婦が繰り広げる大ロマンです。勿論、パソコンやペンはありません。硯の墨で筆書き&縦書きです。彼女の智力、気力、体力にもう圧倒されています。

◆コピー機もありません、読み人は「書き写し」ました。そして愛読者が集まったの、現代版”読み聴かせ”。天皇すらもその仲間でした。

◆焦がれる恋いのやりとりだって、携帯メールじゃありません。人が手渡す手紙だけです。和歌の交換で“決まり”ます。とにかく、一字、一行に人生と命が籠っています。そんな本誌にと「源氏」から教わっているのです。とまれご愛読を！

運営委員 沼本 光史

◆本誌の合言葉は、F&Fです。運営協議会が推進する文化の森の活動を訴える表情豊かな「顔FACE」であり、活動に参加するひとびとが楽しみと生きがいを求めてかかげる「旗FLAG」です。

◆適切な広報活動はどんな組織にも必要です。文化の森の中身が正当に評価されるよう努めますが誇大広告や偽装表示は厳禁です。広報は両刃の剣です。心して編集にたずさわりたいと思っています。そして、清しいさわやかな誌面を創り提供したいと願っています。

◆4月から厚みのある識見と豊かな感性の持ち主である、三人の運協委員、沼本さん、中屋さん、大滝さんが新しく編集委員に加わっておられます。新鮮な誌面にご期待ください。

運営委員(編集長) 福野幸雄

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

### 特集

「2008文化の森夏祭り」  
～8月1日(金)・2日(土)～

「2008文化の森フォーラム」開催  
～自分も仲間も活性化～

新任のごあいさつ 運営協議会会長

新任のごあいさつ 文化の森館長

### 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「だれでもできるデジカメ・スライド教室」を報告します。

運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は藤井晴子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「異文化交流実行委員会」です。



今回は大森の海苔のふるさと館です。大森は海苔の本場であったことを後生に伝えたいということで平成20年に開館しました。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちを

ご紹介します。今回は「押し花サークル」を紹介します。



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回はNHKに出演しているギタリスト莊村清志さんのコンサートです。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

## 文化の森イベントスケジュール



寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.28Web版

2008年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。